

## 歴史地震研究会第 29 回総会議事録案

2012 年 9 月 15 日 15:45～17:00 於横浜開港資料館講堂

1. 定足数確認 参加者 35 名 会員 251 名の 10%を越えるので総会成立を宣言（松浦副会長）
2. 武村会長挨拶 忌憚のない言葉を求めます
3. 議長選出 立候補者なし。副会長より北原会員を議長に推薦。北原会員が選出される。
4. 北原議長挨拶
5. 対外的活動の報告（松浦副会長）
  - (1) 前年度に引き続き、2011 年 3 月 11 日東北地方太平洋沖地震に関連して過去の歴史地震津波に関する研究について関係会員が社会に向けて情報を発信した。
  - (2) 日本歴史災害事典の執筆に歴史地震研究会会員が協力、2012 年 6 月に刊行。
  - (3) 内閣府 元禄地震の災害教訓の調査（伊藤，北原，都司，宍倉，武村，今村隆正：実施中）
  - (4) 消防庁消防博物館 関東大震災関連展示を監修（武村，北原：実施中）
  - (5) 日本被害地震被害総覧改訂（宇佐美，松浦，今村，石井，武村：実施中）
6. 総務委員会報告(小松原総務幹事)

今年度は 5 回の幹事会を開催し、会運営方針を議論したほか、諸種の手続きを行った。幹事会の主な議題は以下の通り。なお今年度から監査役にも幹事会への出席と発言を求めている。

  - ・ 第 29 回・30 回大会の方針(当年度行事委員会および全員)
  - ・ 会誌「歴史地震」の編集(編集幹事)
  - ・ 『歴史地震』掲載の記事について、著者による電子ファイルのウェブ公開を許可するか否かに関して議論した(全員)
  - ・ 会計状況と行事等予算の確認、入退会申請の承認(財政委員会)
  - ・ 会費長期滞納者への対応(財政委員会)
  - ・ 広報活動(広報委員会)
  - ・ 会則の改定案について議論した。
7. 行事委員会報告(吉田行事幹事)

以下の概要で、第 29 回歴史地震研究発表会・シンポジウムならびに巡検の開催準備を行

った。

主催：歴史地震研究会

共催：横浜開港資料館／横浜都市発展記念館

後援：首都圏形成史研究会／日本地震学会／横浜市総務局／横浜市中区

会場：横浜開港資料館／横浜都市発展記念館／横浜市開港記念会館

日程：2012年9月14（金）～16日（日）

（14日：研究発表会・懇親会／15日：研究発表会・総会／16日：巡検・公開講演会）

15日の時点で124名が参加，（うち会員79名，非会員45名）

#### 8. 編集委員会報告(金田編集幹事)

7月末日に歴史地震27号を発行した。論説4編，講演要旨35編，報告・紹介3編，研究会記事そのほかを掲載し，126頁，口絵2頁，目次3頁である。

無償配布先として新たに，史学会・歴史学研究会・地方史研究協議会・日本史研究会・日本歴史学会の5団体を追加した。

幹事会において，著者による記事のウェブ公開について議論し，本会ウェブページで公開されるPDFに限り，個人ホームページや所属機関リポジトリサイトなどでの公開を認める方針を決定した（高解像度PDFや冊子版記事をスキャンした電子ファイルの公開は認めない）。また，この方針に従って編集規定の一部改定を行った（7/30 幹事会承認，8/8 改定）。

新発見史料は「資料」として寄稿してもらうことに決定した。

#### 9. 広報委員会報告(林広報幹事)

広報委員会ではメーリングリスト musha および学会ホームページを通じた迅速な情報提供を進めた。大会への発表募集の案内や，公開シンポジウムについての告知については日本地震学会ニュースレター・日本第四紀学会ニュースレターにも掲載し広く周知した。

Musha の規定を修正した。修正内容は以下の通り。

- ①1-1.主催者を運営および座長に変更。
- ②4.メールの配信，「ただし,,」以下はあまり意味がないので削除。
- ③6.メンバー登録 連絡先を「座長」に変更。

なお座長の連絡先 `musha-contact` アットマーク `maecha.net` を用意し，現在は林広報幹事に転送するようになっている。

- ④6-1.登録更新 管理が煩雑となっているので削除
- ⑤7.メンバーリストの公開 削除
- ⑥9.変更 規約の変更権限は歴史地震研究会・幹事会がもつことに変更。これまでは合議。
- ⑦10.スポンサー 好意ではなく歴史地震研究会の正式運営となったので削除。

10. 2011-12 年度決算報告(諸井財政幹事)

2011-12 年度の決算は表 1 のとおり。収入はほぼ予算どおりだが、支出は新潟大会で行事委員会の尽力の結果黒字が出たので予想を下回った。

**歴史地震研究会 2011-2012年度 決算報告**

|    | 項目                    | 予算額       | 決算額       | 増減       | 内訳           |
|----|-----------------------|-----------|-----------|----------|--------------|
| 収入 | 2011-2012年度会費         | 690,000   | 606,000   | ▲ 84,000 | 202名 × 3000円 |
|    | 2011-2012年度以前会費(未払い者) | 0         | 24,000    | 24,000   | 8名 × 3000円   |
|    | 会誌バックナンバー売り上げ         | 0         | 8,500     | 8,500    | 会誌3, 予稿集2    |
|    | 会誌口絵代                 | 0         | 44,000    | 44,000   | 22000 × 2ページ |
|    | 銀行利息                  | 0         | 30        | 30       | 15 × 2       |
|    | 前年度繰越                 | 1,222,528 | 1,222,528 | 0        |              |
|    | 合計                    | 1,912,528 | 1,905,058 | ▲ 7,470  |              |

|    |                 |         |          |           |              |
|----|-----------------|---------|----------|-----------|--------------|
| 支出 | 新潟大会補填          | 100,000 | ▲ 41,058 | ▲ 141,058 |              |
|    | 横浜大会準備費         | 10,000  | 150,100  | 140,100   | 大会運営費仮払い     |
|    | 歴史地震27号印刷代      | 472,500 | 403,231  | ▲ 69,269  | 470部,送料・振込料込 |
|    | 同編集費            | 0       | 5,210    | 5,210     | 査読料 × 1,振込料込 |
|    | HP管理費           | 12,000  | 12,210   | 210       | 振込料210円込     |
|    | 会議費             | 100,000 | 76,630   | ▲ 23,370  |              |
|    | 雑費(通信費・文房具購入など) | 60,000  | 9,252    | ▲ 50,748  |              |
|    | 未収入金            | 0       | 44,000   | 44,000    | 会誌口絵代        |
|    | 合計              | 754,500 | 659,575  | ▲ 94,925  |              |

|        |           |           |        |
|--------|-----------|-----------|--------|
| 次年度繰越金 | 1,158,028 | 1,245,483 | 87,455 |
|--------|-----------|-----------|--------|

## 2011年新潟大会 収支

|    | 項目          | 金額       | 内訳        |
|----|-------------|----------|-----------|
| 収入 | 参加費(会員)     | 75,000   | 1000円×75名 |
|    | 参加費(非会員)    | 74,000   | 2000円×37名 |
|    | 懇親会会費(一般)   | 255,000  | 5000円×51名 |
|    | 懇親会会費(学生)   | 9,000    | 3000円×3名  |
|    | 巡検参加費       | 222,000  | 6000円×37名 |
|    | 予稿集代        | 1,000    | 1000円×1部  |
|    | 歴史地震研究会より補填 | ▲ 41,058 |           |
|    | 合計          | 594,942  |           |

|    |        |         |                         |
|----|--------|---------|-------------------------|
| 支出 | 予稿集印刷代 | 46,515  | 80部, 消費税・振込料420円込       |
|    | 予稿集増刷代 | 42,105  | 50部, 消費税・振込料420円込       |
|    | 懇親会代金  | 252,500 | 参加人数43名, 消費税込           |
|    | 巡検代金   | 211,182 | バス代・昼食代ほか, 消費税・振込料420円込 |
|    | アルバイト代 | 32,000  | 8000円×2日×2名             |
|    | コピー代   | 10,000  | 予稿集不足分のコピー              |
|    | 宅配便代   | 640     |                         |
|    | 合計     | 594,942 |                         |

議長：決算報告について質問は？

植竹：新潟大会で出た黒字によって予算より支出が軽減できたという説明はおかしいと思われませんか？この点を補足として何かかいておいたほうが良いのではないかと。新潟大会の黒字は本来収入として計上したほうが良いと思う。

諸井：内訳として収入になった旨を記載する。マイナスの補填は会にとって収入となるので、その旨を記載するのはどうか。HPに修正したものを今年度の決算として公開する。

議長：現在の形で承認されるか？

会場：拍手

議長：では承認されたとみなします。次に監査報告をお願いします。

### 11. 監査報告

永井監査役：収入・支出・預金残高ともに正しく記載されていることを確認した。

新潟大会分の収入については承知していた。一方収入欄で会誌口絵代が入金前なのに収入にいられてるのは会計報告としておかしいと感じた。

中村監査役：会費収入が250名中180名分しか入っていない。ここ数年間で32万円ほど収入が足りないのは大きな問題と感じる。

武村：決算についてはここで認めてもらいたい。

未納の人には連絡して請求している。各人がいくら分未納か分からないので、できるだけ早く未納者に連絡をとって払ってもらおうようにしている。

中村監査役：諸井さんだけでは未納金対応は大変なので、手分けして督促する。

議長：決算報告は承認されるか？

会場：拍手

議長：では 2011-12 年度の決算は承認されたと認めます。次に次期会長を選出します。

## 12. 次期役員人事

松浦：武村現会長を推薦します。

北原：皆さんどうでしょうか？

会場：拍手

議長：それでは武村会長に来年度もお願いすることになりました。ついで監査役の選出をお願いします。

松浦：永井さんと中村操さんを推薦したい

議長；皆さん、いかがでしょうか？

会場：拍手

議長：承認されたので宜しく願いいたします。

武村会長挨拶：微力ながら一生懸命やらさせていただきます。

各幹事を指名します。副会長は松浦さん，総務幹事は小松原さん，財政幹事は諸井さん，編集幹事は金田さん，広報幹事は林さんに代わって石部さん，行事幹事は林信太郎さんをお願いします。

各幹事挨拶

議長：幹事会に対して要望はないでしょうか？

議長：ないようですので，私から提案したいことがあります。新しい歴史地震関係の本を紹介する書評・紹介といったコーナーを作って欲しいと思います。ご検討をお願いします。

## 13. 2011-2012 年入退会者の報告(諸井財政幹事)

新規入会 22 名，3 名退会（うち 2 名逝去）で，現在会員数は 251 名となっています。

## 2011-2012年度 入退会者

2011年9月1日時点の会員数:232名

2012年9月1日時点の会員数:251名

### ■新規入会者:22名

|      |            |      |
|------|------------|------|
| 足立長門 | 竹村孝弘       | 柳澤和明 |
| 水田敏彦 | 齋藤剛彦       | 聖城雅夫 |
| 越後智雄 | 三神厚        | 新田康二 |
| 上田誠  | 高野宏康       | 相原淳一 |
| 野越三雄 | 新谷勝行       | 萬年一剛 |
| 長内洋介 | 宇野宏司       | 山中佳子 |
| 千葉崇  | 都築充雄       | 蝦名裕一 |
| 谷本光生 | (敬称略, 入会順) |      |

### ■退会者:3名

|            |      |            |
|------------|------|------------|
| 山下文男       | 宮地直道 | 砂防エンジニアリング |
| (敬称略, 退会順) |      |            |

#### 14. 2012-13 年度予算案説明(諸井財政幹事)

昨年度と同様に非会員に査読を依頼する際の費用として編集費に 10000 円を計上しています。

## 歴史地震研究会 2012-2013年度 予算案

|        | 項目              | 予算額       | 内訳                  |
|--------|-----------------|-----------|---------------------|
| 収入     | 会費              | 750,000   | 250名 × 3000円        |
|        | 前年度繰越           | 1,245,483 |                     |
|        | 合計              | 1,995,483 |                     |
| 支出     | 会誌印刷費(歴史地震27号)  | 493,500   | (1050円 × 470部),送料込み |
|        | 同編集費            | 10,000    | 査読料5000円 × 2        |
|        | HP管理費           | 12,000    |                     |
|        | 雑費(通信費・文房具購入など) | 60,000    |                     |
|        | 会議費             | 200,000   |                     |
|        | 横浜大会補填          | 0         |                     |
|        | 次回大会準備費         | 200,000   |                     |
|        | 合計              | 975,500   |                     |
| 次年度繰越金 |                 | 1,019,983 |                     |

議長：予算案にご意見は？

議長：意見がなさそうなので、拍手でもって承認いただけるでしょうか

会場：拍手

議長：予算案を承認いたしました。

引き続き武村会長からお願いがあります。

## 15. 会則改定

武村：はじめに功績賞の設置を提案します。

趣旨は以下の通りです。

歴史地震研究会も設立以来、来年で30周年を迎える。その間、研究会にあって歴史地震研究の発展ならびに本会の発展に対して寄与された方々も多く、その中でも顕著な攻積を挙げられた会員を表彰し永く記録にとどめ、よって未来に向けての範となすべく功績賞を設置したい。

ご賛同いただける場合の手続き

- ① 会則の改正（総会での決議事項）
- ② 功績賞の表彰規定の制定（幹事会で定める事項）

会則改正

第3条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 研究成果発表会および講演会
- (2) 会誌の刊行
- (3) 広報活動

### **(4) 歴史地震研究に関する業績の表彰**

### **(5) その他、必要な事業**

規定の制定（別紙）

歴史地震研究会功績賞内規

平成24年9月4日幹事会承認

第1条 本規定は、歴史地震研究会会則第3条(4)項に規定する業績の表彰に基づき、歴史地震研究の進歩・発展ならびに本会の発展に対して顕著な功績を挙げられた方に贈る「歴史地震研究会功績賞」に関して定める。

第2条 本賞の対象は、本会会員とする。なお、本賞の既受賞者は対象から除く。

第3条 対象業績は歴史地震研究の進歩・発展、歴史地震研究会の発展に対するものとする。

第4条 授賞式は、会員総会の場において行い、受賞者に賞状を贈る。

第5条 功績賞選考委員会が受賞者の選考を行い、幹事会が決定する。功績賞選考委員会は、正・副会長、総務幹事、財政幹事から構成する。

附則；1. この内規は、幹事会で変更することができる。

2. この内規は、平成24年9月15日より施行する。

補足説明いたします。名誉会員という制度を作れないかという意見をもらいました。しかし名誉会員となってしまうと却って本人が発表しにくくなる雰囲気が生まれる恐れがあります。そこで、名誉会員制度はとらずに功績賞という形にすることにしました。この件についてご議論をお願いします。

議長：功績賞の設置と会則改正に関して意見はありませんか？

植竹：9月4日幹事会承認の内規の日程はおかしいのでは？

武村：内規の日程を変えることには全然やぶさかではないので、9月4日幹事会承認を9月15日幹事会承認に改めます。

議長：以上の訂正を加えて承認いただけるでしょうか？

会場：拍手

議長：ではこの件に関して会則改正は成立しました。次の会則改正の件について説明をお願いします。

武村：金融機関の事務所所在地に関するチェックが厳しくなっています。また地震研究所にも迷惑をかけているので、松浦さんが所属する地震予知総合研究振興会に事務所をおくようにしたい。地震研究所にも了解をいただいている。このことを下記資料のように会則に明記したいと思います。

次に所在地の変更について

郵便振替口座など金融機関の住所管理の厳格化に沿うために、会則の事務所所在地を以下のように変更することを提案する。

(事務所)

第4条 本会は、事務所を~~東京都文京区弥生1-1-1 東京大学地震研究所内~~に置く。

東京都千代田区猿樂町1-5-18 千代田ビル 公益財団法人 地震予知総合研究振興会内

議長：実質に一致させたいという趣旨だが、承認いただけるでしょうか？

会場：拍手

議長：では承認されました。

## 16. 2013年大会について

議長：行事委員から来年の大会について説明をお願いします。

林：2012年9月14～16日に秋田で開催します。

1日目と2日目の前半は研究発表会、2日目の午後は公開講演会、3日目は秋田県北部から青森県の西津軽を訪ねる巡検を計画しています。すでに会場として秋田大学の教室を確保しています。



## 17. そのほか

議長：他に何かないでしょうか？

津村：歴史天候を調べている人とコンタクトをとったところ、歴史天候と歴史地震を合同で研究すると有効ではないかと感じました。「歴史天候データベース」を検索すると、全国の年月日の天気分かる。これを利用して地震発生日をある程度決められることができます。逆に歴史天候の研究者は歴史地震研究史料のなかに歴史天候が記されていることを知らない。30箇所くらい、藩史料を中心として、天候を網羅している。歴史天候の研究者は海外の研究者との交流が盛んであり、コンタクトをとりながら研究すると歴史地震研究にもメリットがある。天候研究者は幕末明治初期の歴史資料を集める非常に有力な史料としてこの英文史料を使っているが、宇佐美先生は英文史料を使っていない。

北原：歴史天候の研究会はあるのでしょうか？

津村：ない。ほんの数人でやっている状況です。とりあえず、データベースをみて欲しい。

議長：これにて総会の議題はすべて話し終えました。総会を終了したいと思います。

松浦：ありがとうございました。